

第 52 回企画展

畜力と農作業

～稲作業実態調査から～



平成 24 年 4 月 8 日～6 月 29 日

岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

エンジンを使った農機具が登場する昭和35年頃までは、農作業は牛馬を使った体系が主体でした。牛馬は耕起、代掻作業、運搬作業など労働生産性の向上や、これらを飼養することによる堆厩肥の生産で土地生産力を高めるなど、農家の生活にとって欠かせないものであり、家族と同じように扱われながら生活を共にしてきました。

岩手県では、昭和30年のはじめに、県下の稲づくりについて作業の実態調査を行っており、企画展ではこの調査を基に、当時の畜力活用による稲づくり作業の様子や、飼養用具、作業用馬具などを紹介します。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL: 0197-68-3975

開館時間／9：00～16：30（入館は16：00まで）

休館日／月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）

入館料／一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等（20名以上）あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台